

## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 9355 URL http://www.rinko.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南波 秀憲  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 前山 英人 TEL 025-245-4112  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,840	0.0	282	△36.8	305	△33.4	204	△39.0
2019年3月期第2四半期	8,838	10.7	447	83.0	458	90.1	335	607.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 78百万円 (△83.4%) 2019年3月期第2四半期 471百万円 (114.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	75.96	—
2019年3月期第2四半期	124.47	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	38,658	15,007	38.8	5,563.25
2019年3月期	37,691	15,010	39.8	5,564.24

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 15,007百万円 2019年3月期 15,010百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,100	△3.0	600	△23.8	620	△21.9	430	△24.2	159.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正に関しましては、本日 (2019年11月8日) 公表いたしました「2020年3月期第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	2,700,000株	2019年3月期	2,700,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,418株	2019年3月期	2,394株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	2,697,592株	2019年3月期2Q	2,697,606株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	2,700,000株	2019年3月期	2,700,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,418株	2019年3月期	2,394株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	2,697,592株	2019年3月期2Q	2,697,606株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

2019年4月1日から9月30日までの6ヶ月間（以下、当第2四半期）におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得環境を背景として緩やかな回復基調を維持しておりましたが、今後の景気動向については、米中貿易交渉や消費税増税による影響など、先行き懸念が増大しております。

このような経済状況の下、当社企業グループの主要な事業拠点である新潟港では、貨物取扱数量は前年同四半期比で増加いたしました。主力である運輸部門におきましても、新潟港の荷動きと同様に、コンテナ貨物を中心に貨物取扱数量が増加し、商品販売部門も堅調に推移しましたが、ホテル事業部門や機械販売部門等が伸び悩み、前年同四半期比で連結の売上高は微増となりました。一方、利益面では、運輸部門で新規倉庫建設に伴う一時的な経費の増加、下払費の増加等が影響し、前年同四半期比で減益となりました。

この結果、当第2四半期の当社企業グループの売上高は88億4千万円（前年同四半期比0.0%の微増）、営業利益は2億8千2百万円（前年同四半期比36.8%の減益）、経常利益は3億5百万円（前年同四半期比33.4%の減益）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億4百万円（前年同四半期比39.0%の減益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (運輸部門)

当社運輸部門と運輸系子会社4社を合わせた同部門の当第2四半期の貨物取扱数量は、前年同四半期比2.1%増加の308万2千トンとなりました。そのうち一般貨物は前年同四半期比0.3%減少、コンテナ貨物は前年同四半期比3.7%増加とコンテナ貨物の取扱数量が堅調に推移いたしました。その結果、同部門の売上高は52億8百万円（前年同四半期比2.0%の増収）となりましたが、経費面では既存倉庫の改修や新規倉庫（2019年2月に危険品倉庫、同年9月に一般倉庫が稼働）に関係する一時的な経費と減価償却費の増加、トラック輸送費等の下払費の増加も影響し、同部門のセグメント損益は1千4百万円の損失（前年同四半期は1億2千7百万円の利益）となりました。

## (不動産部門)

同部門の業績に大きな変動はありませんが、賃貸物件の修繕費が増加した結果、売上高は1億6千万円（前年同四半期比0.1%の増収）、セグメント利益は9千9百万円（前年同四半期比1.6%の減益）となりました。

## (機械販売部門)

建設機械・自動車等の整備事業につきましては、部品を中心とした受注増から前年同四半期比で増収となりましたが、建設機械等の販売で、大型物件の減少により前年同四半期比で減収となった影響が大きく、同部門の売上は7億3千3百万円（前年同四半期比14.3%の減収）、5百万円のセグメント損失（前年同四半期は0百万円の損失）となりました。

## (ホテル事業部門)

株式会社ホテル新潟は、今年5月の大型連休が寄与し、宿泊は好調を維持しておりますが、レストランは前年同四半期並み、宴会は大規模宴会の件数の減少により減収となり、同社の収支は前年同四半期比で減収減益となりました。また、株式会社ホテル大佐渡は、山形沖地震の発生や台風等の荒天による宿泊キャンセルの影響もあり前年同四半期比で減収減益となりました。

これらの結果、ホテル2社を合わせた同部門の売上高は、16億3千7百万円（前年同四半期比1.0%の減収）、セグメント利益は1億7千5百万円（前年同四半期比4.6%の減益）となりました。

## (商品販売部門)

建設資材の販売において、生コンをはじめとしたセメント系商品の販売が増加したことなどにより、同部門の売上高は10億3千2百万円（前年同四半期比5.3%の増収）となりましたが、その他の商材の取扱が低調に推移した結果、セグメント利益は2千1百万円（前年同四半期比12.4%の減益）となりました。

## (その他)

保険代理店業、産業廃棄物の処理業を合わせたその他の売上高は、1億3千2百万円（前年同四半期比6.5%の減収）、セグメント利益は5百万円（前年同四半期比33.0%の減益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末と比べて9億6千7百万円増加し、386億5千8百万円となりました。この主な要因は、昨年度より建設中でありました新倉庫の稼働に伴い、有形固定資産が11億3千3百万円増加したことなどによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末と比べて9億6千9百万円増加し、236億5千万円となりました。この主な要因は、新倉庫建設に伴う借入金の増加等により、リース債務を除く有利子負債が15億1千2百万円増加したことなどによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べて2百万円減少し、150億7百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加1億3千9百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億4千9百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結会計期間の当社企業グループの業績は、前年同四半期比で売上高は微増となりましたが、利益面については、主力の運輸部門において、下払費の増加や2019年の2月と9月に稼働を開始した新倉庫に係る一時的な経費の増加等により、前年同四半期比で減益となりました。

このような状況を踏まえて、運輸部門においては新倉庫の稼働率を上げるための集荷活動や効果的な経費削減の取組みをより一層進めて参りますが、今後の事業環境の動向や業績の推移を考慮し、2019年5月10日の決算短信で公表しました通期の連結業績予想を以下のとおり下方修正いたしました。

詳細は、2019年11月8日に公表しました「2020年3月期第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2020年3月期連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)
前回発表予想（A）	17,500	790	795	570
今回修正予想（B）	17,100	600	620	430
増減額（B－A）	△400	△190	△175	△140
増減率（％）	△2.3	△24.1	△22.0	△24.6
（ご参考）前期実績 (2019年3月期)	17,625	787	794	567

（注）「前回発表予想」は、2019年5月10日付の公表値、「今回修正予想」は2019年11月8日付の公表値であります。

なお、上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	954,994	554,383
受取手形及び営業未収入金	3,191,812	3,436,007
電子記録債権	235,005	229,533
たな卸資産	130,488	113,370
未収還付法人税等	261	—
その他	103,844	258,341
貸倒引当金	△1,174	△1,283
流動資産合計	4,615,232	4,590,351
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,155,365	24,081,396
減価償却累計額	△15,933,521	△15,895,271
建物及び構築物(純額)	6,221,844	8,186,124
機械装置及び運搬具	2,368,317	2,397,659
減価償却累計額	△2,011,756	△2,032,271
機械装置及び運搬具(純額)	356,561	365,388
土地	22,033,875	22,009,583
リース資産	737,816	684,278
減価償却累計額	△341,242	△316,554
リース資産(純額)	396,573	367,724
建設仮勘定	783,082	—
その他	1,242,741	1,256,442
減価償却累計額	△1,069,719	△1,086,310
その他(純額)	173,022	170,132
有形固定資産合計	29,964,959	31,098,953
無形固定資産		
リース資産	36,616	46,372
その他	72,158	65,573
無形固定資産合計	108,774	111,946
投資その他の資産		
投資有価証券	2,650,083	2,509,727
繰延税金資産	120,051	118,728
その他	426,244	422,646
貸倒引当金	△194,119	△194,067
投資その他の資産合計	3,002,260	2,857,035
固定資産合計	33,075,994	34,067,934
資産合計	37,691,227	38,658,286

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,930,371	1,847,348
電子記録債務	161,687	131,001
短期借入金	2,300,000	2,150,000
1年内返済予定の長期借入金	2,809,968	2,420,312
1年内償還予定の社債	50,000	—
リース債務	147,103	144,012
未払法人税等	153,640	77,491
賞与引当金	302,866	303,894
営業外電子記録債務	1,022,425	814,749
その他	892,367	733,136
流動負債合計	9,770,430	8,621,946
固定負債		
長期借入金	5,234,948	7,336,678
リース債務	312,946	295,763
繰延税金負債	860,012	894,623
再評価に係る繰延税金負債	4,888,414	4,881,541
退職給付に係る負債	1,272,619	1,283,532
資産除去債務	168,567	169,696
その他	173,151	167,192
固定負債合計	12,910,660	15,029,027
負債合計	22,681,091	23,650,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,241	809,241
利益剰余金	2,728,589	2,868,275
自己株式	△7,014	△7,062
株主資本合計	5,480,816	5,620,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	450,271	301,222
土地再評価差額金	9,435,683	9,419,991
退職給付に係る調整累計額	△356,635	△334,356
その他の包括利益累計額合計	9,529,319	9,386,857
純資産合計	15,010,136	15,007,311
負債純資産合計	37,691,227	38,658,286



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高		
運輸作業収入	4,657,335	4,740,110
港湾営業収入	86,041	73,243
不動産売上高	148,191	148,295
機械営業収入	833,446	712,702
ホテル営業収入	1,650,042	1,632,375
商品売上高	961,025	1,011,455
その他の事業収入	502,881	522,690
売上高合計	8,838,964	8,840,873
売上原価		
運輸作業費	4,246,168	4,450,378
港湾営業費	62,204	60,393
不動産売上原価	49,979	51,398
機械営業費	791,571	677,380
ホテル営業費	1,286,098	1,283,600
商品売上原価	928,549	981,721
その他の事業費用	321,613	347,270
売上原価合計	7,686,185	7,852,143
売上総利益	1,152,778	988,729
販売費及び一般管理費	705,664	706,344
営業利益	447,113	282,384
営業外収益		
受取利息	51	4,034
受取配当金	42,905	53,287
雑収入	12,362	8,027
営業外収益合計	55,319	65,349
営業外費用		
支払利息	42,794	41,465
雑支出	1,029	644
営業外費用合計	43,823	42,110
経常利益	458,609	305,623
特別利益		
固定資産売却益	570	1,288
投資有価証券売却益	-	1,392
特別利益合計	570	2,680
特別損失		
固定資産処分損	7,297	24,708
特別損失合計	7,297	24,708
税金等調整前四半期純利益	451,882	283,595
法人税、住民税及び事業税	96,794	67,963
法人税等調整額	19,308	10,710
法人税等合計	116,102	78,674
四半期純利益	335,780	204,921
親会社株主に帰属する四半期純利益	335,780	204,921

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	335,780	204,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119,620	△149,049
退職給付に係る調整額	16,360	22,279
その他の包括利益合計	135,980	△126,769
四半期包括利益	471,761	78,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	471,761	78,151

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,104,925	148,191	833,446	1,650,042	961,025	8,697,631	141,332	8,838,964
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,853	12,332	22,566	4,250	19,369	62,372	-	62,372
計	5,108,779	160,523	856,013	1,654,292	980,394	8,760,003	141,332	8,901,336
セグメント利益又は損失(△)	127,024	101,081	△230	183,855	25,069	436,801	8,727	445,529

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	436,801
「その他」の区分の利益	8,727
セグメント間取引消去	1,144
その他の調整額	440
四半期連結損益計算書の営業利益	447,113

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,203,943	148,295	712,702	1,632,375	1,011,455	8,708,772	132,100	8,840,873
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,895	12,332	20,480	5,151	20,620	63,480	—	63,480
計	5,208,838	160,628	733,183	1,637,526	1,032,076	8,772,253	132,100	8,904,353
セグメント利益又は損失(△)	△14,646	99,499	△5,914	175,424	21,971	276,334	5,844	282,178

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	276,334
「その他」の区分の利益	5,844
セグメント間取引消去	100
その他の調整額	105
四半期連結損益計算書の営業利益	282,384

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。